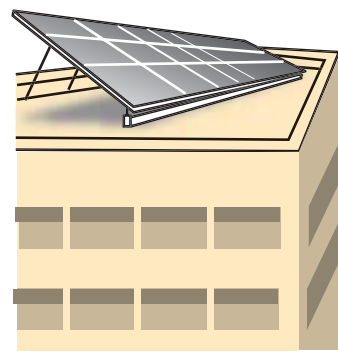


【問】CO₂排出削減のため、新エネルギー導入推進が求められている。学校や公共施設の更新に合わせ、計画的に太陽光発電や太陽熱利用を進めるべきではないか。



また、家庭の廃食用油を拠点回収し、精製したバイオディーゼル燃料を活用する自治体が増えている。区も廃食用油の拠点回収、バイオディーゼル燃料へのリサイクルを行い、率先してエコカーとして区の広報車等に

足立区議会民主党

色覚障害に配慮したカラーバリアフリーの導入で誰もが住みやすいまちづくりを！



民主党
長谷川 たかこ 議員

色覚障害に配慮した色使いを【問】色覚に障害のある方は、日本全国で300万人以上、区内でも1万7千人以上いると推計される。

色覚障害の方へ理解を深め、教育現場や区の施設・広報等での啓発活動、色使いの配慮等、具体的な対策を含め、カラーバ

【環境】太陽エネルギーの活用については、今後、公共施設のエコ化が進むよう検討していく。バイオディーゼルについては、品質の課題や普及の可能性を見ながら検討していく。

【問】花畑団地は、「建て替え対象団地」と言われ、老朽化が進んでいる。リフォーム住宅修繕等を行い、若年層等入りやすい団地として再募集を行う等、居住者を増やす対策が必要ではないか。

【都市整備】UR花畑団地整備計画に係る足立区・都市機構協議会において、情報・意見交換を行い、より良い解決策、整備の方策を都市機構に求めていく。

リアフリーを導入したまちづくりを進めるべきではないか。

【福祉】カラーバリアフリーの考え方を含め、誰もが快適に暮らせるよう取り組んでいく。

【資産管理】庁舎内窓口の番号案内電光表示を、わかりやすい機器へ改善する等、ハザードマップも含め、検討していく。

【教育指導】教育現場において色覚障害に対する正しい理解に基づく、適切な対応をとるよう各学校に啓発していく。



【環境】「足立区地球温暖化対策区民会議(仮称)」の設置を平成20年度に予定している。

【問】特定不妊治療について、子どもを望む夫婦への応援を

【衛生】区独自の助成事業については、都の動向を見ながら研究していく。

また、特定不妊治療については、保険適用も視野に入れ検討されるべきと考えている。

【問】ドッグランやスケートボード場等、既存の公園を目的別化して特色を出し、魅力ある公園づくりをすべきである。

【土木】フットサル場やスケートボード等、公園の再生に向けて計画づくりを行っていく。

【問】放課後子ども教室の区内全小学校での実施に向けて、計画を前倒ししても早急に実現すべきではないか。

【教育事業】平成20年度から3年間で全校実施という目標を立て準備を進めている。平成20年度、21校という数字にこだわらず、出来るだけ前倒ししていく。

教育改革実現に向けての学校現場と教育委員会との温度差のない取り組みを！



民主党
工藤 哲也 議員

安心・安全な街づくりを【問】防犯活動の一環として青色防犯灯の設置が効果的といわれている。積極的に防犯活動を行なっている地域に対し、防犯灯の設置を推進すべきと思うがどうか。

【危機】犯罪発生状況の推移等、先進自治体の検証とあわせて、効果の検証を進めていく。

【建築】区内全戸に「耐震診断耐震改修工事」のパンフレットを配布しPRしている。その効果を検証した上で、助成費用

無党派

区民の命と財産を守る対策を！都立東綾瀬公園を区立公園に！文化・芸術の拠点として野外音楽堂の設置を！



無党派
へんみ 圭一 議員

【問】住宅火災による死者数は、



【福祉】11月から開始した住宅用火災警報器給付事業の申請件数は、約100件である。広報紙や町会の回覧板で周知したが、今後は、消防署や地域包括支援センター、ケアマネジャーと連携して申請を促していく。

【土木】現在の位置づけの中で、より区民に親しまれる公園になるよう、都へ改良について積極的に働きかけていく。